

令和2年3月13日
三次市福祉保健部健康推進課

新型コロナウイルス感染症予防対策のための 妊婦へのマスク配布について

新型コロナウイルス感染症予防対策として、妊婦の方へマスクを郵送（3/13発送予定 約180人）で配布します。今後、母子健康手帳を交付の方には、三次市健康推進課窓口及び各支所窓口にて配布します。

対象者：三次市に居住している妊婦

- 配布物：①サージカルマスク5枚
②新型コロナウイルス感染症対策のチラシ（厚生労働省作成）
③新型コロナウイルスQ&Aのチラシ（厚生労働省作成）

本件に関するお問い合わせ先



三次市 福祉保健部 健康推進課(担当/富野井, 奥川)

電話番号:0824-62-6232 FAX番号:0824-62-6382

E-mail: kenko@city.miyoshi.hiroshima.jp

〒728-8501 広島県三次市十日市中二丁目8番1号



ネウボラみよしからのお知らせ

(三次市妊娠・出産・子育て相談支援センター)



新型コロナウイルス感染症予防対策に伴う マスクの配布について

新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

三次市では新型コロナウイルス感染症予防対策として、令和2年3月1日以降の出産予定の妊婦さんにマスクを配布しております。

医療機関受診時など、感染予防のためにご活用ください。

また、十分な休養とバランスの良い食事をとり、できるだけ混雑した場所を避けることも大切です。感染症対策へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

<新型コロナウイルス感染症に関する相談の目安と相談窓口>

次のいずれかに該当する方は、最寄りの相談窓口にご相談ください。

- 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く方
(解熱剤を飲み続けなければならない方も同様)
- 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方



以下のような方は重症化しやすいため、
この状態が**2日程度**続く場合には、早めにご相談ください。

- 妊婦の方**
- 高齢者の方
- 透析を受けている方
- 免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
- 糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)の基礎疾患がある方

新型コロナウイルス感染症相談窓口 広島県北部保健所
平日8時30分~17時 ☎(0824)63-5181
休日・夜間 ☎(082)513-2567

お母さんや子どもの健康・子育ての悩み等
さまざまな相談に対応します。お気軽にご相談ください。
ネウボラみよし(三次市健康推進課)
☎(0824)62-6257



感染症対策へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのぼすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗います。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる



マスクを着用する(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う



2 ゴムひもを耳にかける



3 隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

厚生省 検索



新型コロナウイルスQ&A

令和2年2月22日時点版

心配な時には

Q1 風邪のような症状があり心配です。どうしたらいいですか？

A 発熱などの風邪の症状があるときは、学校や会社を休むなど、外出を控えてください。毎日体温を測定して記録しましょう。

Q3 最寄りの保健所等(帰国者・接触者相談センター)に相談するとどうなりますか？

A 電話での相談を踏まえて、感染の疑いがある場合には、必要に応じて、新型コロナウイルス感染症患者の診察ができる「帰国者・接触者外来」を確実に受診できるよう調整します。

予防について

Q4 新型コロナウイルスにはどうやって感染しますか？

A 現時点では、飛沫感染と接触感染の2つが考えられます。

- ① 感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫による「飛沫感染」
- ② ウイルスに触れた手で口や鼻を触ることによる「接触感染」

医療機関を受診するとき

Q6 医療機関を受診するときに気を付けることはありますか？

A 複数の医療機関を受診せず、「帰国者・接触者相談センター」等から紹介された医療機関(「帰国者・接触者外来」など)を受診してください。受診するときは、マスクを着用し、手洗いや咳エチケットを徹底してください。

Q2 感染したかも?と思ったらどうしたらいいですか？



A 以下の場合には、最寄りの保健所等にある「**帰国者・接触者相談センター**」に電話で相談しましょう。

- ① 風邪の症状や37.5度以上の熱が4日以上続く
- ② 強いだるさや息苦しさがある



- ・重症化しやすい高齢者や基礎疾患がある方に加えて、念のため**妊婦さん**は、こうした状態が**2日程度続いたら**相談しましょう。
- ・症状がこの基準に満たない場合には、かかりつけ医や近隣の医療機関にご相談ください。

Q5 感染予防のためにできることはなんですか？

A 以下のことを心がけましょう。

- ① 石鹸やアルコール消毒液などによる手洗い
- ② 正しいマスクの着用を含む咳エチケット
- ③ 高齢者や持病のある方は公共交通機関や人込みを避ける

新型コロナウイルスについて

Q7 感染しても症状が出ない人がいますが、その人からも感染しますか？

A 現状では、はっきりしたことはわかっていません。通常、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合、症状が最も強く現れる時期に、他者へウイルスをうつす可能性も最も高くなると言われています。

